

平成 29 年度 第2回理事会議事録

- 1 日 時 平成 29 年 6 月 13 日 (火) 午後 3 時 10 分～4 時 40 分
- 2 場 所 協会事務室
- 3 出席者 理事 13 名、監事 2 名 欠席 武田理事
- 4 進 行 議長 (会長)
- 5 協議事項

協議に先立ち、新役員の馬場理事及び長谷川監事のあいさつがあった。

(1) 平成 29 年度役員役務分担について

5 月の総会において承認された新役員の役務の調整が行われた。なお、副会長は、大野副会長を第 1 に、山口副会長を第 2 とすることとなった。

(2) 各種委員の推薦について

協議の結果、横浜市精神保健福祉審議会委員は、現行委員 5 名のうち、荒井理事の後任として長谷川監事を推薦することとし、他の 4 名は引き続き推薦することとした。また、県がん・疾病対策課から依頼のあった神奈川県アルコール健康障害対策推進計画策定協議会委員は、増田理事を推薦することとした。

6 報告事項

(1) 日精協報告について

大野副会長から 5 月 18 日に開催された平成 29 年度第 2 回理事会での議題について報告があった。

- ①平成 28 年度事業報告書 (案) について
- ②平成 28 年度財務諸表等 (案) について
- ③改正精神保健福祉法国会審議について
- ④平成 29 年度医療経済実態調査票 (案) について
- ⑤平成 28 年度総合調査報告 (案) について
- ⑥診療報酬改定説明会について
- ⑦災害時支援中心病院研修報告

また、6 月 9 日に開催された第 11 回定時社員総会での役員改選について報告があった。

(2) 各種表彰候補者の推薦について

資料に基づき、精神保健福祉事業功労者大臣表彰ほかの候補者の推薦について報告があった。なお会長より各病院とも表彰候補者の推薦を積極的に行ってほしいとの話があった。またその際には、原則として優良職員表彰 (会長賞) を受賞している者を原則とするとの話もあった。

(3) 各種委員の推薦について

相模原市精神科病院実地指導・実地審査担当医として石井理事、増田理事ほか 9 名の者を推薦したことの報告があった。

(4) 会員病院の届出事項変更について

3 病院 4 件の変更届が報告された。

(5) 部会報告について

事務長会の総会・研修会及び薬剤部長会の第 1 回運営委員会の結果報告が、それぞれ担当理事からあった。

(6) 29 年度第 1 回理事会議事録について

議長から、修正があれば事務局に連絡するよう発言があった。

(7) その他

会長より、7 月 13 日 (木) 及び 9 月 28 日 (木) に県精神神経科診療所協会との合同研修会を開催するとともに、9 月下旬から 10 月初めに熊本の益城病院の関係者を招へいし、熊本地震への対応、災害支援について研修をしたいとの報告があった。また、日精協神奈川支部の災害時支援中心病院となった愛光病院と日向台病

院が受講した日精協の研修内容を各会員病院へ伝達する会合を行うとともに、会員病院が少なくとも1チームのDPATを組織し訓練を実施するなど、被災時の対応について検討をしてみたいとの話があった。

山口副会長から港北病院の関東信越厚生局・適時調査の結果について、厚生局もよく勉強しており、受検する病院はあらかじめ、直近の対象病院の状況を調べるなどの十分な対応が必要との報告があった。

大滝理事から本年度第1回県いじめ問題対策連絡協議会について報告があり、いじめにあった方のメンタル面での相談について当協会としても協力することが確認された。また、診療所協会にも協力を仰ぐ必要があることから、協議会の資料を同協会に送ることになった。

天保理事から専門医制度をめぐる日本専門医機構等の検討状況について報告があった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後4時40分理事会の閉会を告げた。